

プラスチック成形加工学会 入会のご案内



どんな学会ですか？

プラスチック成形加工学会は、プラスチックの新しい可能性を切り拓くために、プラスチック材料や成形方法・成形条件から、プラスチックの新しい応用展開に至る幅広い分野に科学と技術のメスを入れ、情報を交換し議論を行う場です。学会誌や研究発表会、技術交流会、専門委員会などを通して、既に1,500名余の成形エンジニアや様々な分野の研究者・技術者が同じテーブルについて情報交換と議論を行っています。

プラスチック成形加工学会の概要（2009年2月末日現在）

創 立：1988年12月（社団法人化 1994年10月）

会員数：個人会員1,475名（学生会員含む）、法人会員177名

会 長：横井 秀俊（東京大学）

歴代会長：山口章三郎（工学院大学）、大柳 康（工学院大学）、中川威雄（東京大学）、

成澤郁夫（山形大学）、船津和守（九州大学）、酒井忠基（日本製鋼所）、黒崎晏夫（東京工業大学）、

西脇信彦（東京農工大学）、末松征比古（三井化学）、小山清人（山形大学）注；所属は会長就任当時

事 務 局：〒141-0032 東京都品川区大崎5-8-5 グリーンプラザ五反田第2 205号室

学会ホームページ：<http://www.jspp.or.jp/>

どのような活動をしていますか？

プラスチック成形加工学会では、会員どうしの情報交換や議論の場として以下のような活動を行っています。

● 学会誌「成形加工」の発行

プラスチック成形加工学会が毎月1回発行する学会誌「成形加工」は、成形加工分野の技術者・研究者の強力な情報源となっています。毎号、以下のような内容が掲載されています。

論 文：成形加工に関連するさまざまな現象を学問的に検討した報告です。

特集・解説：成形加工の現状と最新のトピックスを提供します。

講 座：成形加工の基礎分野の知識を習得し、その分野のエキスパートとして活躍するために役立ちます。

研究機関紹介：さまざまな研究機関の研究動向を、研究者の素顔とともに紹介します。

製品・技術紹介：会員企業の新技术や新製品のポイントをタイムリーに紹介します。

会議見本市だより：国内外で開催されました成形加工に関連するさまざまな会議の様子を紹介します。

● 研究発表会の開催

プラスチック成形加工の分野で新たに得られた研究成果や新しいアイデアをひろく会員間に発表し、意見交換を行うとともに、他の会員の発表を通して最先端の研究・技術の動向を知ることができません。プラスチック成形加工学会では、春と秋の年2回、研究発表会を開催しています。また、国内だけでなく成形加工分野において成長著しいアジアの各国とワークショップを毎年開催しております。

年次大会

5～6月に東京で開催されます。毎回800名を超える参加者を得て、150件以上の研究発表がある、プラスチック成形加工学会のメインイベントです。

秋季大会（成形加工シンポジウム）

10～11月に東北、中部、関西、中国、九州など各地持ち回りで開催されます。各地の特色にあわせて論点を絞り、より深い議論が行えるように配慮されています。

アジア・プラスチック成形ワークショップ

アジアの各国と研究発表会を開催し、情報交換、研究者交流の場を提供しています。

● 講演会・セミナーの開催

プラスチック成形加工に関連する新しい知識や基礎的な学理をひろく会員どうしで共有するために、さまざまな講演会やセミナー、技術交流会を開催しています。

- **講演会**：時流にあったトピックスについて、専門家からお話をいただきます。最近取り上げられたトピックスには、次のようなものがあります。
発泡成形、マイクロ・ナノ成形、バイオベースポリマーの現状と将来、など
- **技術交流会**：特徴ある技術に基づき優れた製品を生み出す工場を見学し、関連する講演を通して、最新の技術情報を交換する交流会です。
- **講習会**：本学会が編集した本を基にしたテキストシリーズ講座では執筆者からわかりやすく説明をしてもらいます。より具体的な技術に関する実践講座も行っております。
- **夏季セミナー**：1泊2日の日程で情報交換を行うセミナーです。時間を忘れ自由に討論していただけます。

これらの活動の最新情報は、学会ホームページ (<http://www.jspp.or.jp/>) をご参照ください。

研究活動のサポートはどうですか？

プラスチック成形加工学会では、成形加工の基礎的な分野の研究を掘り下げるために、次のような専門委員会を設けて、それぞれ活発な意見交換を行っています。

- 伸長プロセス専門委員会：委員長 鞠谷雄士（東京工業大学）
- 押出成形専門委員会：委員長 梶原稔尚（九州大学）
- 射出成形CAE専門委員会：委員長 山部 昌（金沢工業大学）
- 環境・リサイクル専門委員会：委員長 木村照夫（京都工芸繊維大学）
- 新加工技術専門委員会：委員長 横井秀俊（東京大学）
- 成形金型技術専門委員会：委員長 村田泰彦（日本工業大学）
- 発泡・超臨界流体利用成形加工技術専門委員会：委員長 大嶋正裕（京都大学）

地方支部活動はありますか？

会員どうしの交流を深めるために、プラスチック成形加工学会では地方支部を設置しています。現在は多くの会員を擁し活発な活動を行っている以下の地方に支部を設置していますが、今後全国に地方支部を設置していく予定です。

- 既設地方支部
関西支部（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、岐阜、三重、福井、岡山、徳島）

● 2009年6月設置予定地方支部

東北・北海道支部（北海道、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県）

● 設置予定地方支部 北陸信越支部 関東支部 東海支部 中国四国支部 九州支部

優れた研究成果・技術の表彰制度はありますか？

成形加工の分野において優れた研究成果・技術を表彰する制度があります。表彰には、技術賞と論文賞の2種類があります。

● 青木 固 技術賞

プラスチック成形加工の分野で独創的かつ優秀な技術に授与されます。会員からの推薦に基づき慎重に審査した上で、毎年3件以内が選定されます。

● 論文賞

学会誌「成形加工」に掲載された論文の中から、学術的・技術的に優れたものに対して授与されます。毎年2件以内が選定されます。

会員のメリットは？

プラスチック成形加工学会の会員になると、上記の学会活動に会員資格で参加できます。すなわち、

● 正会員・学生会員

- ・学会誌「成形加工」を毎月1冊受け取れます（購読料は会費に含まれます）。
- ・学会誌「成形加工」に論文を投稿できます。
- ・年次大会と秋季大会で研究成果の発表ができます。
- ・学会主催の講演会、セミナー、技術交流会などに会員割引の参加費で参加できます。
- ・各種専門委員会に参加できます。

● 賛助会員

- ・学会誌「成形加工」を毎月（入会口数）×3冊受け取れます。
- ・年次大会の講演論文集を（入会口数）×1冊受け取れます。
- ・学会主催の講演会、セミナー、技術交流会などに正会員と同じ特典で参加できます。
- ・年次大会と秋季大会で研究成果の発表ができます。
- ・学会誌「成形加工」に「製品・技術紹介」を投稿することができます。

会費と入会方法は？

年会費は以下の通りです（2009年5月現在）。

- 正会員 年会費 10,000円 入会金 ~~2,000円~~
- 学生会員 年会費 2,000円 入会金 ~~1,000円~~
- 賛助会員 年会費 1口 100,000円 入会金 ~~20,000円~~

（現在会員増強キャンペーンを行っており、2010年の年次大会までに入会された方は入会金を無料にしております。）

入会を希望される方は、以下の入会申込書に必要事項をご記入いただき、学会事務局まで郵送またはファックスでお送りください。賛助会員として入会を希望される方は、学会事務局までお問い合わせください。あるいは、学会ホームページ（<http://www.jspp.or.jp/>）の入会申込ページから申込書をダウンロードできますのでご利用ください。

さあ、入会なさいませんか？



プラスチック成形加工学会（正会員・学生会員）入会申込書

* 会員 No.	* 入会年月日 平成 年 月 日			会員資格	1. 正会員 2. 学生会員	
フリガナ 氏 名	【姓】	【名】	性別	生年月日	明・大・昭 年 月 日	
			男 女			通信先
勤務先 在 学 校	【所在地】 〒					
	【勤務先名、在 学 校 名】					
	【工場・支社・研究所名、学部・研究科名】					
	電 話				ファックス	
	E-mail					
現住所	〒					
	電 話				ファックス	
最 終 出 身 校	【学校名】				学 位	1. 工 博 2. 理 博 3. その他 ()
	【学部・研究科名】					
	【学科・専攻・研究室名】					
	昭・平 年 卒業・修了 / 平 年 卒業見込・修了見込					
専門分野						
通信欄						
* 備 考						

〒141-0032 東京都品川区大崎 5-8-5 グリーンプラザ五反田第 2 205 号室

(社) プラスチック成形加工学会 事務局

電話 03-5436-3822 ファックス 03-3779-9698 e-mail plakakou@sepia.ocn.ne.jp